

◆ 第9回竜神地域会議 会議録 ◆

日時 2018年12月25日(火) 19:15~20:50  
場所 竜神交流館 大会議室  
出席者 委員 : 19名(欠席1名)  
事務局 : 野田支所長、下川副支所長、川合副主幹、西村主査  
オブザーバー: 今吉竜神交流館長

---

- 次第
- 1 会長あいさつ
  - 2 竜神地域会議の予定
  - 3 連絡事項
    - (1) わくわく団体の見学について
    - (2) タニタ健康セミナー・脱メタボリンピック表彰式・抽選会について
  - 4 協議事項
    - (1) 2020年度地域予算提案事業について
  - 5 その他

■議事(要約)

- 1 会長あいさつ ⇒ 省略
- 2 竜神地域会議の予定

**決定事項**  
2019年度の定例会も今年度同様、第4火曜日午後7時~とする。12月のみ第3火曜日午後7時~とする。
- 3 連絡事項
  - (1) わくわく団体の見学について  
「元気むつみ会」について、見学に参加した委員が感想等を報告。  
<委員> 男性の参加者が多くて驚いた。また進行役が上手に司会進行をされていて、参加者にも笑顔があふれていた。写真を見て、しばらくしてから思い出させるゲームは緑ヶ丘の元気アップ教室でも取り入れたい。また、進行役の育成も大切だと感じた。
  - (2) タニタ健康セミナー・脱メタボリンピック表彰式・抽選会について  
事務局から事業報告
- 4 協議事項
  - (1) 2020年度地域予算提案事業について  
**決定事項**  
事務局より今後の検討方法について提案。それを踏まえ、当面は①~③のように協議を進めることに決定した。
    - ① 全委員を4つのグループに分け、今回及び次回地域会議でグループワークにより取組み課題を検討・選定。(最大3つ程度)
    - ② 各グループが選定した課題を全体で1~2個に絞り込み。

- ③ グループワークの状況も踏まえ絞り込んだ課題の掘り下げ、対策の検討について月例の地域会議以外に、分科会等の場を設置するか協議。

## グループワーク中間報告

### <グループ A>

課題の1つ目は、防災・減災についてである。「安心・安全なまちづくり」を目的とする。選定理由は、竜神地域で災害が発生しておらず、地域住民の災害への意識が低いと感じる。また以前に地域予算提案事業で作成した防災ガイドブックが活用されていないと思う。

2つ目は子どもたちの居場所作りである。「子どもたちの健全な育成」を目的とする。公園はあるが、遊べる空間がない。サッカーや野球等のボール遊びができない、また駐車場として利用されている場所もあるようである。

3つ目は地域カルテにおいて、豊田市の平均よりも竜神地域の課題認識が高い項目への取組みや、自治力アップを目指すデータから見るまちづくりである。これにより、地域予算提案事業の地域貢献度や地域会議の認知度アップを目指す。

### <グループ B>

課題の1つ目は、公園が交流の場として機能しなくなっていることである。近年の車移動社会の中で公園に駐車場がないということ、また近所からの苦情により子ども達がサッカーなどのボール遊びをする公園がなく、子ども達の居場所がないために家でゲームをする状態になっていることなどにより、交流機会が減少している。駐車場にするための地目変更など柔軟に行うべきである。

2つ目は、区長や民生委員などの自治区役員の高齢化や担い手不足である。ある程度の社会的な経験がないとできない上に、退職年齢の上昇により担い手がない。また社会的、経済的に後押ししてくれる形になっていないのも理由となっている。そのため、事務の標準化や削減などを検討したほうがよいと考える。

3つ目はゴミの問題である。正しく分別されていないゴミや不法投棄されたごみの処理を自治区の役員がやっている。自治区だけの力では24時間の監視は行えない。分別していないゴミを出した者への罰則があったほうがよい。また市から防犯カメラの貸し出しはあるが、ゴミの監視のための防犯カメラ設置の補助金はない。企業のゴミステーションについても、市は許可等についてよく検討してほしいと思っている。

### <グループ C>

課題の1つ目はゴミの問題である。分別ができていないことが多い。自治区の役員が分別をしている。また不法投棄も多く、自治区が片付けている。また車からのポイ捨ても多い。できたら、自治区の片付けをゼロにしたい。

課題の2つ目は子どもたちが遊ぶ施設が不十分ということである。公園があっても遊びたいと思える場所ではなく、公園なども使われていない。公園の場所が知られてないこともあると思う。子どもたちが遊ぶと苦情がでる公園までであると聞いている。

### <グループ D>

課題は防災・減災である。愛知県では大きな災害が起きておらず、災害に対す

る住民の意識が低い。避難勧告が出たときにどうすればいいかわからない住民も多い。避難者用や運営用の明確な行動マニュアルがないわけではないが、現状は民生委員に頼ることが多い。その民生委員と地域の防災隊等との協力体制をつくる必要がある。また、現在のマニュアルを周知しなければならない。また、指定避難場所について、工業高校や高等支援学校が県立ということで、避難場所に指定されていないことも問題だと考える。

■次回の予定      1月22日（火）PM7：00 第10回定例会  
場所：竜神交流館 大会議室